

国勢調査の調査時は午前か午後か？

奥積 雅彦（総務省統計図書館）

統計図書館では統計相談業務（調べもののお手伝いをするレファレンス業務）も行っており、今後におけるレファレンス業務を想定して国勢調査の調査時である「午前零時」の定義を調べてみました。本稿では、その一端を紹介します。

1 国勢調査の調査時

国勢調査の調査時は実施年の10月1日「午前零時」現在となっています。

「午前零時」は十二支でいうと「子の刻」で、真夜中をさします（「子の正刻」あるいは「正子」ともいいます）。

【参考】ちなみに、「正子」は、「デジタル大辞泉」によれば「真夜中。午前零時。太陽が地平線下で子午線を通過する時刻。」とありました。

2 「午前零時」の根拠法令

明治5年^{1872年}太政官布告第337号（改暦ノ布告）に「時刻ノ儀是迄昼夜長短ニ随ヒ十二時ニ相分チ候処今後改テ時辰儀時刻昼夜平分二十四時ニ定メ子刻ヨリ午刻迄ヲ十二時ニ分チ午前幾時ト称シ午刻ヨリ子刻迄ヲ十二時ニ分チ午後幾時ト称候事」と定められています。

また、同布告に時間表も定められており、「午前零時」＝「午後12時」＝「子の刻」であることがわかります。

○明治5年太政官布告第337号¹

明治五年十月 太政官 第三三十七号

九月小 三十日	共一日	同	七月十日
十月大 三十一日	共一日	同	八月十日
十月小 三十一日	共一日	同	九月十二日
十二月大 三十一日	共一日	同	十月十二日

大小毎年替ルヲナシ

明治五年十月 太政官 第三三十七号

一 今般太陰曆ヲ廢シ太陽曆御頒行相成候ニ付來ル十一月三日ヲ以テ明治五年一月一日ト改定候事
 但新舊曆取出來次諸部者候事
 一 今般三百六十五日十二月ニ分チ四年毎ニ一日ノ間ヲ置候事
 一 時刻ノ儀是迄昼夜長短ニ隨ヒ十二時ニ相分チ候処今後改テ時辰儀時刻昼夜平分二十四時ニ定メ子刻ヨリ午刻迄ヲ十二時ニ分チ午前幾時ト稱シ午刻ヨリ子刻迄ヲ十二時ニ分チ午後幾時ト稱候事
 時刻ノ儀來ル一月一日ヨリ右時刻ニ可改事
 但是迄時辰儀時刻ヲ何字ト稱來候處以後何時ト可稱事
 一 諸祭典等舊曆日ヲ新曆月日ニ相當シ施行可致事
 太陽曆 一年三百六十五日 閏年三百六十六日^{四年ニ一回}
 一月大 三十一日 共一日 即舊曆壬申 十二月三日
 二月小 二十八日 共一日 同 正月四日
 三月大 三十一日 共一日 同 正月五日
 四月小 三十日 共一日 同 二月五日
 五月大 三十一日 共一日 同 三月五日
 六月小 三十日 共一日 同 四月五日
 七月大 三十一日 共一日 同 五月七日
 八月大 三十一日 共一日 同 閏六月九日

右ノ時刻表

午後	九時	五時	一時	午前	八時	四時	子刻
戌半刻	申半刻	辰半刻	子半刻	午刻	酉刻	卯刻	丑半刻
十時	六時	二時	二時	九時	申刻	辰刻	寅刻
十一時	七時	三時	三時	十時	未半刻	巳刻	卯半刻
十二時	八時	四時	四時	十一時	午半刻	辰半刻	辰半刻
子刻	九時	五時	一時	十二時	巳半刻	卯半刻	巳半刻

¹ 国立国会図書館デジタルコレクション「法令全書 明治5年」
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/787952/172>

(参考)「午前零時」については、以下のサイトに説明されています。

- ◆参議院法制局HP：法制執務コラム「正午は午前か午後か」
<http://houseikyoku.sangiin.go.jp/column/column100.htm>
- ◆国立天文台HP：よくある質問「正午は午前12時？それとも、午後12時？」
<https://www.nao.ac.jp/faq/a0401.html>
- ◆日本広報協会HP：広報Q&A「時刻の表記の仕方を教えてください。例えば「12時」はどのように表記するのが正しいのですか。また、12時間制と24時間制はどちらがよいのでしょうか。」
<https://www.koho.or.jp/useful/qa/hyouki/hyouki07.html>

3 「午前零時」の用例

電子政府の総合窓口（e-Gov）で法律・政令から検索した結果は「午前零時」は27件（民法（明治29年^{1896年}法律第89号）第140条ほか）で、「午後十二時」は1件（特許法（昭和34年^{1859年}法律第121号）第19条）でした。法令上は、「午前零時」、「午後十二時」どちらの用例も、前掲の太政官布告と整合しています。

ちなみに、大正9年^{1920年}の第1回国勢調査の調査時は、国勢調査施行令（勅令）²で「第一回国勢調査ハ大正九年十月一日午前零時ノ現在ニ抛リ之ヲ行フ」とされています。

4 おわりに

第1回国勢調査の右のポスターをみると、時計の絵と日めくりカレンダーの絵（日付が9月30日から10月1日に）により、国勢調査の調査時を端的に表現されていると感じました。

なお、統計的には、調査時は、特定時点の状態を全国一斉に調査するという意味があります。右のポスターには「全国一斉」についても明記されており、当時のポスターの考案者のセンスの良さが伝わってきます。



【余談】

時刻について、国立国会図書館HP「レファレンス協同データベース」をみると次のような質問がありました。前掲の参議院法制局HPや国立天文台HP、日本広報協会HPにも掲載されていることと合わせて考えると、にわかに理解しにくい面があることを確信しました。

◆昼の12:00、12:15を12時間制で書く場合、午前12時、午後12時のどちらで書くのが正しいのか。（案内状に時刻を記載する場合）

http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000040159

◆「午前0時」「夜中の12時」といった表現のある、0時丁度は、今日になるのか、明日になるのか。

http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000014031

◆24時、0時の使い方の違いについて調査をお願いしたい。

http://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000036393

² 国立国会図書館デジタルコレクション（大正7年^{1918年}9月26日付け官報）
<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2953958>